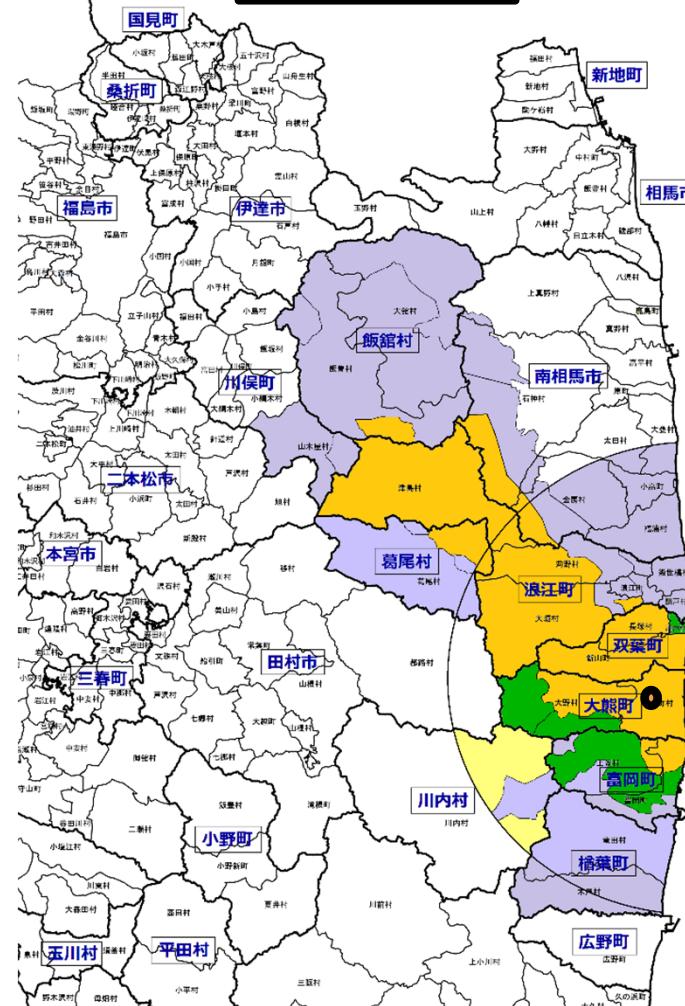


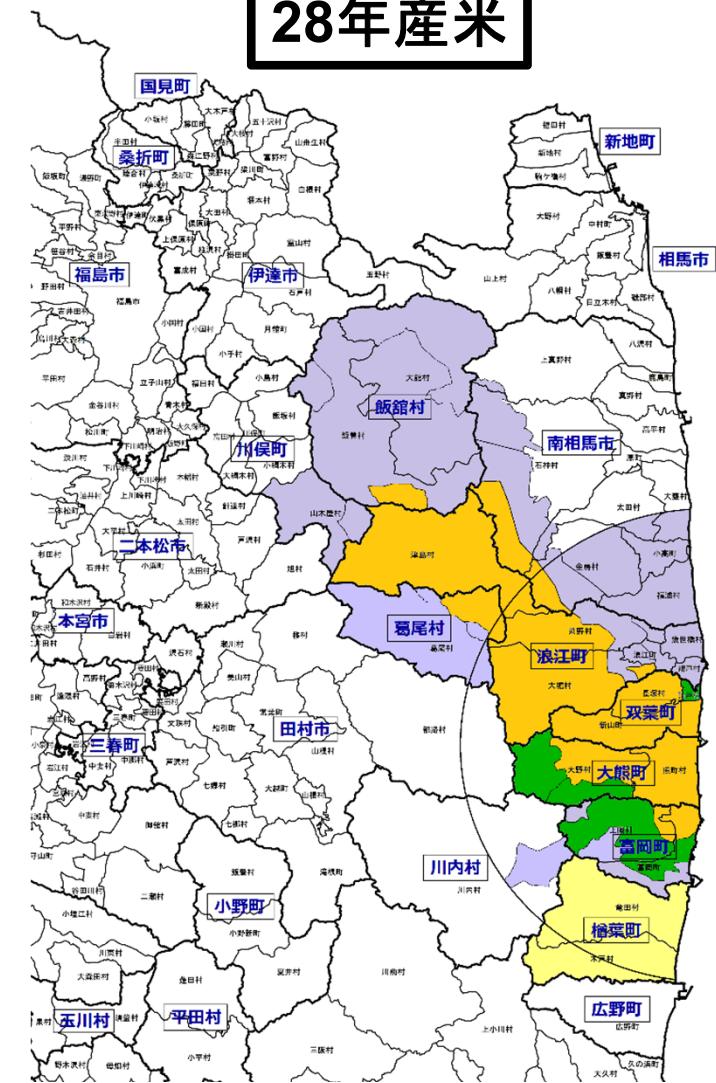
27年産米



福島県



28年産米



作付制限

作付・営農は不可。

農地保全・試験栽培

除染後農地の保全管理や市町村の管理の下で試験栽培を実施。

作付再開準備

管理計画を策定し、作付再開に向けた実証栽培等を実施。

全量生産出荷管理

管理計画を策定し、全ての荷場で吸収抑制対策を実施、もれなく検査(全量管理・全袋検査)、順次出荷。



福島第一原子力発電所

## 58 商業用の米の輸出数量及び輸出金額の推移

- 2015年の輸出数量は7,640トン（対前年比69%増）、輸出金額は約22億3千万円（同56%増）となった。
- 2016年1～6月の輸出数量は4,374トン（対前年同期比51%増）、輸出金額は約12億円（同43%増）となっている。

	2011年		2012年		2013年		2014年		2015年		2016年 (1～6月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	2,129 (+12%)	683 (-1%)	2,202 (+3%)	726 (+6%)	3,121 (+42%)	1,030 (+42%)	4,516 (+45%)	1,428 (+39%)	7,640 (+69%)	2,234 (+56%)	4,374 (+51%)	1,174 (+43%)
香港	779	256	916	299	1,207	377	1,744	497	2,519	659	1,534 (+39%)	393 (+34%)
シンガポール	598	183	668	208	961	300	1,295	371	1,850	463	1,118 (+45%)	265 (+34%)
台湾	183	66	154	50	168	74	407	155	753	268	390 (+36%)	140 (+27%)
中国	0	0	34	14	46	19	157	76	568	291	47 (+213%)	20 (+224%)
アメリカ	46	24	29	16	91	36	81	37	322	103	287 (+246%)	94 (+177%)
オーストラリア	157	38	130	34	189	56	185	59	273	84	145 (+3%)	44 (+4%)
タイ	13	6	19	8	21	9	43	15	208	37	188 (+300%)	30 (+135%)
イギリス	57	17	48	18	58	23	112	41	189	60	114 (+81%)	37 (+78%)
ベトナム	1	1	3	1	16	5	4	2	142	15	50 (-38%)	8 (+39%)
モンゴル	4	1	7	2	73	14	51	10	134	24	108 (+500%)	18 (+415%)
マレーシア	22	6	10	3	6	2	49	15	124	41	76 (+117%)	22 (+99%)
その他	269	86	184	74	285	115	388	149	558	189	317 (+30%)	103 (+21%)

資料:財務省「貿易統計」(政府による食糧援助を除く。)

注1: ( )内は対前年同期増減率である。

注2:「その他」には、2015年については、ドイツ、カナダ、インドネシアなどが含まれる。

注3: 数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

## 輸出の現状

- コメ・コメ加工品の輸出金額は堅調に増加しており、平成27年は201億円、平成28年1~6月においても、対前年同期比で11%増となっている。

品目名		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年1~6月		(参考) 主な輸出先国
						対前年同期比	
コメ・コメ加工品	金額	150億円	169億円	201億円	104億円	+11%	米国 香港 台湾 韓国 シンガポール 中国
コメ (援助米 を除く)	数量	3,121トン	4,516トン	7,640トン	4,374トン	+51%	香港 シンガポール 台湾 中国
	金額	10億円	14億円	22億円	12億円	+43%	オーストラリア
米菓 (あられ・ せんべい)	数量	3,606トン	4,012トン	3,679トン	1,720トン	+1%	台湾 香港 米国 シンガポール EU
	金額	35億円	39億円	39億円	18億円	+3%	
日本酒 (清酒)	数量	16,202 キロリットル	16,314 キロリットル	18,180 キロリットル	9,815 キロリットル	+8%	米国 香港 韓国 中国 台湾 シンガポール
	金額	105億円	115億円	140億円	74億円	+9%	

## 2020年目標と対応方向<sup>(※)</sup>

- 輸出額目標: **600億円**
- 精米だけでなく、包装米飯・日本酒・米菓も含めたコメ加工品の輸出に力を入れる。

- **コメ(包装米飯含む)**  
現地での精米の取組や炊飯ロボットと合わせた外食への販売など、日本米のプレゼンスを高める取組を推進。  
**★重点国**  
**新興市場:**台湾、臺北、EU、ロシア、中国、米国等  
**安定市場:**香港、シンガポール
- **米菓**  
相手国のニーズに合った商品の開発、手軽なスナックとしてのプロモーション強化。  
**★重点国**  
**新興市場:**中東、中国、EU  
**安定市場:**台湾、香港、シンガポール、米国
- **日本酒**  
発信力の高い都市や重点市場でのイベント・事業を実施するほか、セミナー等を通じて、日本酒の良さについて普及。日本酒の生産増に対応した酒造好適米の増産が可能となるよう措置。  
**★重点国**  
**新興市場:**EU、台湾、中国、ブラジル、ロシア、韓国  
**安定市場:**米国、香港

## 60 一般社団法人 全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会の概要

### 1. 設立

平成26年11月27日  
(前身の全国米関連食品輸出促進会から改称し、組織目的を明確化し、オールジャパンの輸出団体として平成26年11月27日に設立。平成27年8月13日に一般社団法人化。)

### 2. 目的

1. 我が国の良質な米・米関連食品の海外での需要の開拓・拡大を図り、世界のマーケットに届けるため、オールジャパンで取り組むべき共通課題の洗い出し・解決に向けた協力体制を構築すること
2. 輸出の拡大を通じて、我が国のコメ生産者の所得向上に資すること
3. 輸出拡大にむけて、協議会会員間の相互の情報収集、共有を通じ、各種連携を促進し、必要に応じて輸出事業の共同展開に資すること

### 3. 事業内容

1. オールジャパンのブランド育成
2. 海外市場開拓調査
3. 産地PR・国内商談会
4. 海外販売促進活動
5. 会員ニーズに基づく共同の取組の促進 等

### 4. 会員数

111会員(平成28年6月14日現在)

秋田おばこ農業協同組合、全国農業協同組合連合会、木徳神糧株式会社、元氣寿司株式会社、株式会社神明、鈴茂器工株式会社、関谷醸造株式会社、全国米穀販売事業共済協同組合、一般社団法人全国包装米飯協会、株式会社永谷園、白鶴酒造株式会社、全国米菓工業組合、株式会社吉野家ホールディングス、株式会社ローソン 等

## 61 米・米関連食品の輸出拡大に向けた取組

- 米・米関連食品の輸出拡大のため、他の品目に先がけて、オールジャパンでコメ・コメ関連食品の輸出を促進する全国団体(全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会)を平成26年11月27日に立ち上げ。
- 全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会は、統一口ゴマークの開発・発表、海外でのPRイベント等を開催。

(1) 輸出拡大のための日本産米・コメ加工品の統一口ゴマークを開発し、国内で発表（平成27年3月13日）。  
(農林水産大臣出席、国内メディア約30社が参加)

ロゴマークと併せてQRコードを表示し、日本産米に関する映像コンテンツを含むWEBページにリンクさせることにより、日本産米の良さを映像でPRする仕組みを構築。

〈日本産米輸出の統一口ゴマーク〉



THIS IS  
JAPAN QUALITY  
日本のおいしい米。



(注) QRコードから、日本産米・米加工品のPR映像が流れる  
HPへリンク

(2) 海外においても、統一口ゴマークを用いて、日本産米・米関連食品のPRイベントを開催。

- ① シンガポール 平成27年3月16日
  - ・ 日本産米ロゴマークPRイベント
  - ・ 日本産米を使った料理の試食会
- ② 上海 平成27年3月20日
  - ・ 現地バイヤー向け日本産米セミナー、試食会
- ③ ロンドン 平成27年5月5日
  - ・ 日本米・日本食文化等の紹介、日本酒セミナー
- ④ 香港 平成27年8月13、14日
  - ・ 日本米・日本食文化等の紹介、日本酒セミナー
- ⑤ ロシア 平成27年10月5～8日
  - ・ 日本米・日本食文化等の紹介、日本酒セミナー
- ⑥ シンガポール 平成28年1月15、16日
  - ・ 日本米調理体験型セミナー
- ⑦ 上海 平成28年3月4～7日
  - ・ パックご飯を使った日本料理実演試食
  - ・ 日本産米を使った料理及び日本酒の実演試食